

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、高齢者施設等において集団発生が多く発生したことを踏まえ、新興感染症等発生時においても対応できるよう、平時から各施設に感染対策の中心となる人材を配置するとともに、施設支援可能な専門家を確保することで、県内の感染症対応力の強化を図る。

1 高齢者施設等における感染対策コーディネーターの養成・配置

感染対策の中心となる人材(感染対策コーディネーター)を研修により養成し、各施設に1名以上を配置

【役割】

- ・平時から自施設の感染対策の推進や、研修・訓練等の実施
- ・感染症発生時における嘱託医や協力医療機関、保健所等と連携、及び適切な感染対策を実施

2 地域アドバイザーの選定

医師、薬剤師、看護師等感染管理の専門家(地域アドバイザー)を保健所圏域毎に複数名選定

【役割】

- ・平時から保健所を通じた施設等への感染対策の支援
- ・保健所開催の会議等による情報共有、研修・訓練への協力等による連携
- ・保健所の依頼に基づく、感染症発生時等における施設への感染対策の支援・指導

高齢者施設等における感染症対応力強化

とちぎ感染症対応力強化プロジェクト 事業内容

感染対策コーディネーター

1 感染対策コーディネーター養成

高齢者施設等から参加

研修修了者

感染対策コーディネーター

- ・平時から自施設の感染対策研修・訓練等の実施
- ・感染症発生時の関係機関と連携
- ・適切な感染対策の実施

2 活動報告会(地域連携促進)



3 フォローアップ研修(スキルアップ)

令和7年度～開始

- ・感染症出現時における施設内の感染対策マネジメント方法の習得
- ・実際の状況を想定した実技演習

助言・指導

相談
(管轄保健所へ)

保健所

- ・感染症に関する相談支援(一般、施設)
- ・感染症発生時対応
- ・管内の関係機関と発生時訓練
- ・感染症に強い地域づくり
- ・医療機関との連携

連携体制の構築

地域アドバイザー



- ・保健所圏域毎に複数名配置
- ・感染管理に関する専門的相談

- 【地域アドバイザーの主な役割】
- ・平時から保健所を通じた施設等への感染対策の支援
 - ・保健所開催の会議等による情報共有、研修・訓練への協力等による連携
 - ・感染症発生時等における施設への感染対策の支援・指導

※地域アドバイザーは医療機関から推薦された専門職員(医師、薬剤師、看護師等)

プロジェクト事務局

人材育成・情報発信

人材育成
支援
情報発信

【人材育成】

- ・感染対策コーディネーター養成等
- ・地域アドバイザーの支援

【情報発信】

- ・感染症情報
- ・施設で実施する研修等で活用できる資料
- ・平時の感染対策、感染症発生時に活用できる資料
- ・コーディネーターの活動報告

とちぎ感染症対応力強化プロジェクトの事業内容

当該プロジェクトで令和6年度からの3年間で養成した感染対策コーディネータの人数及びネットワークを維持し、保健所と地域アドバイザーによる感染症対応力の強化を図り、継続的な支援体制の構築を行う。

	研修会名	内容	研修会受講による効果
感染対策コーディネーター	養成研修 感染症の基礎 個人の資質向上	令和8年度:10回/年 300人養成 ・講義:感染症の基礎 感染対策コーディネーターの役割 標準予防策の方法 ・実技:防護具着脱訓練、手洗い実習	★自施設の感染対策の基礎力の向上 ・感染症に関する正しい知識を身につける ・標準予防策の正しい技術を身につける ・自施設での基礎的な研修、訓練等の実施が可能
	フォローアップ 研修会 組織力の向上	①オンライン学習(自主学習) ホームページ掲載教育資料提供 保健所圏域ごとに年1回(合計6回) ②参集型研修(研修会と活動報告会の同時開催) 【研修会:実務研修】 ・感染症出現時における施設内の感染対策マネジメント ・実際の状況を想定した実技演習 【報告会】 ・コーディネーターの活動状況報告、 (アンケート結果から圏域ごとに内容を検討) ・日頃の感染症対策についての意見交換	★施設における感染症対応力の強化 ・感染症発生時におけるマネジメント対応方法の習得 ・コーディネーターが施設の感染管理の司令塔として 自発的に行動することが可能 ・保健所との連携により、相談できる体制の強化が図られる ・感染症発生時に関係機関と円滑に連携することが可能
	活動報告会 ネットワーク構築		★コーディネーター同士のネットワーク構築 ・各施設の感染管理方法を知り、良い取組は自施設に取り入れることにより、自施設の感染対応力の強化に繋がる

とちぎ感染症対応力強化プロジェクト事業実績(令和7年度)

感染対策コーディネーター養成

【感染対策コーディネーター研修会】
◎年間10回、定員35名で開催
受講後には、認定証発行(これまでに621名分発行)

【参加施設内訳】

施設種類	参加数	割合	職種	参加数	割合
高齢者施設	477	76.8%	看護師・准看護師	336	54.1%
障害者施設	144	23.2%	介護士	122	19.6%
合計	621		管理職	76	12.2%
			相談員	46	7.4%
			事務	12	1.9%
			その他	29	4.7%

【研修参加理由】
・感染対策の正しい知識、最新情報、他施設の情報を得るため
・施設内感染対策の強化及び研修のため
・感染対策に不安があったため

【感染対策コーディネーターの活躍事例(抜粋)】
・感染対策関係の委員会活動
・施設内における教育(研修会)
・感染症に関する施設対応訓練
・感染対策マニュアルの作成・更新
・施設内の感染ラウンド
・感染症に関する相談対応(職員、利用者、家族)
➡様々な場面で御活躍いただいております！

地域アドバイザー

委嘱
・統括アドバイザー:2名
・地域アドバイザー:各保健所圏域ごとに2~3名 計13名
地域の活動:
・高齢者施設向け感染対策研修会講師
・感染症関係会議にオブザーバーとして出席

情報発信

専用ホームページで情報発信中！
①とちぎ感染情報(月刊誌:毎月上旬掲載)
②感染対策コーディネーターだけの限定公開資料
・研修会資料
・様々な感染症への対策
・微生物と感染対策

とちぎ感染情報 9月号

感染対策のポイント

シリーズ3:家庭内感染に注意